


4	正答例と解説 5年「小数のわり算」	[考え方のポイント] わかっていることから必要な情報を選択しよう
---	----------------------	--

(1)の正答例

答え (イ・オ・キ・コ)

貯金箱は、中が見えないし開けることもできません。だから、**重さで判断**します。



- イ 何回貯金したか

⇒
 1回分の貯金額×貯金の回数=貯金額
- オ から 空の貯金箱の重さ

⇒
 (お金+貯金箱)の重さから、空の貯金箱の重さをひくと、お金の重さになります。
- キ こうか 硬貨1枚の重さ

⇒
 1枚の重さがわかれば、お金の重さから硬貨の枚数が求められます。
- コ お金が入った状態の貯金箱の重さ

⇒
 (お金+貯金箱)の重さを表します。

(2)の正答例

式

$$\begin{aligned}
 &(550 - 233.2) \div (4.8 + 4) \\
 &= 316.8 \div 8.8 \\
 &= 36 \\
 &150 \times 36 = 5400 \\
 &\text{答え (5400 円)}
 \end{aligned}$$

式

$$\begin{aligned}
 550 - 233.2 &= 316.8 \\
 4.8 + 4 &= 8.8 \\
 316.8 \div 8.8 &= 316.8 \div 8.8 \\
 &= 36 \\
 150 \times 36 &= 5400 \\
 &\text{答え (5400 円)}
 \end{aligned}$$

316.8は何を表しているかな？

お金が入った貯金箱の重さ - 貯金箱の重さ = お金の重さ

↓

↙

↓

$$550(\text{g}) - 233.2(\text{g}) = 316.8(\text{g})$$

式の意味は？

$$150 \times 36 = 5400$$

↙

↓

↘

1回分の貯金額 × 貯金の回数 = 貯金額